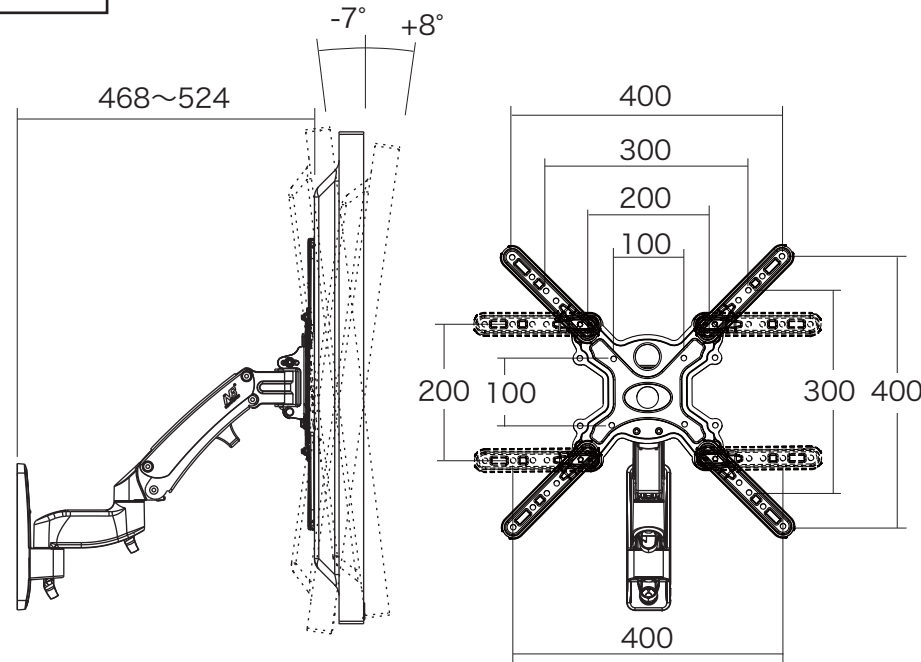


この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
このディスプレイアームは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

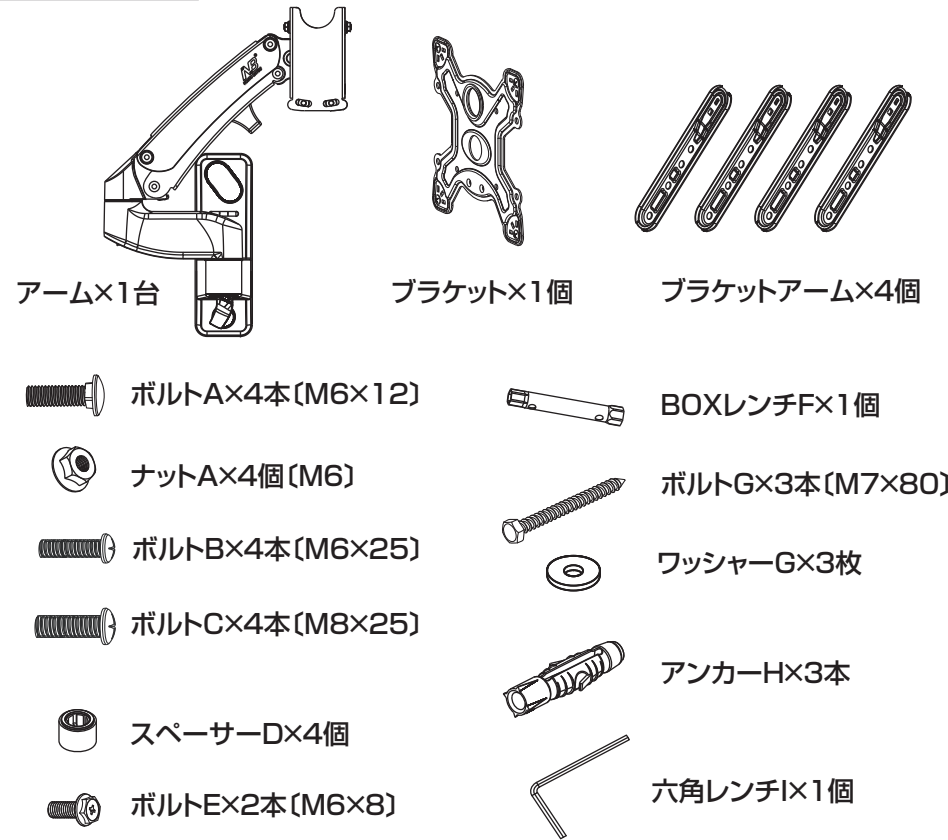
<用意していただくもの>
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください)
プラスドライバー、4mmと10mmのドリルの刃、電動ドリル

完成図

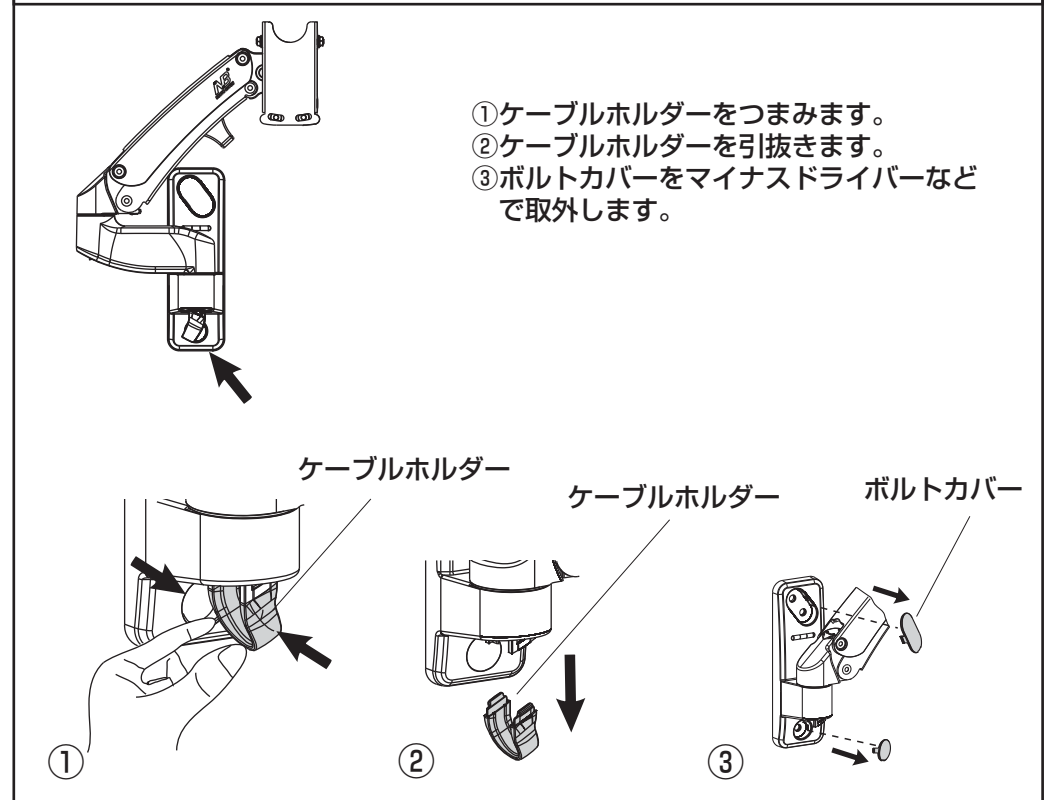


耐荷重 23kg

組立て部品



1. アームからケーブルホルダーとボルトカバーを取外します。



2. アームを壁面に取付けます。

※必ずコンクリートの壁か、もしくは壁の内部に木製の芯材がある場所を取付けてください。壁面はディスプレイと本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。

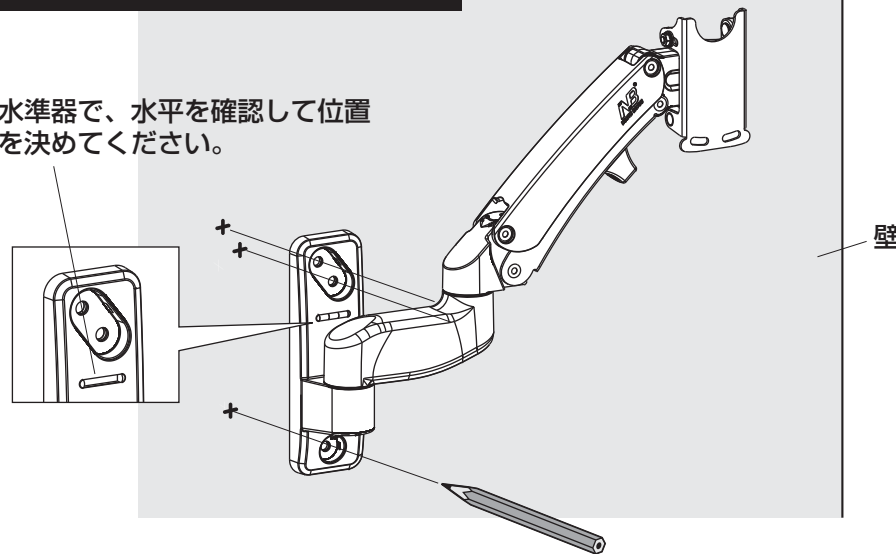
<コンクリートの壁への取付け>

① アームを設置する壁に当ててテンプレートにし、取付けの穴を開ける位置3カ所に印をつけます。

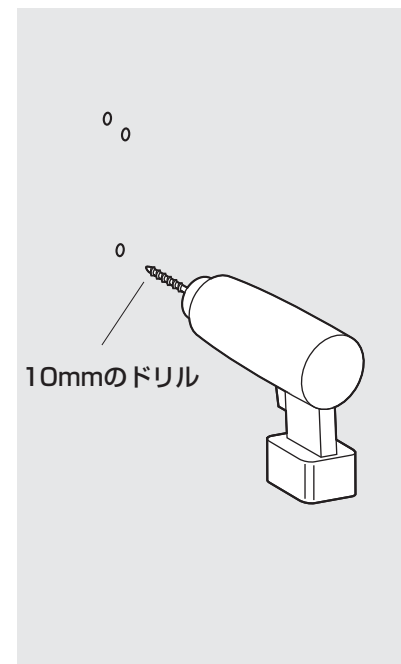
⚠ 注意 ⚠

この作業は必ず大人二人以上で行い、手や指などを挟まないようにご注意ください。

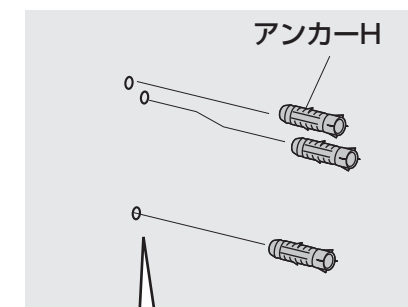
※水準器で、水平を確認して位置を決めてください。



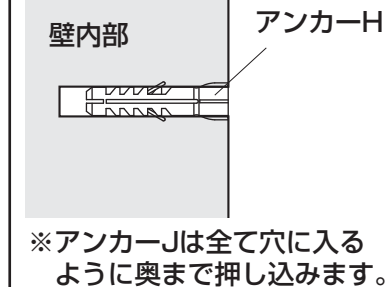
② ドリルを使い壁に印をつけた2カ所に直径10mm、深さ約80mmの下穴をあけます。



③ 下穴にアンカーHを差し込みます。



横から見た断面図

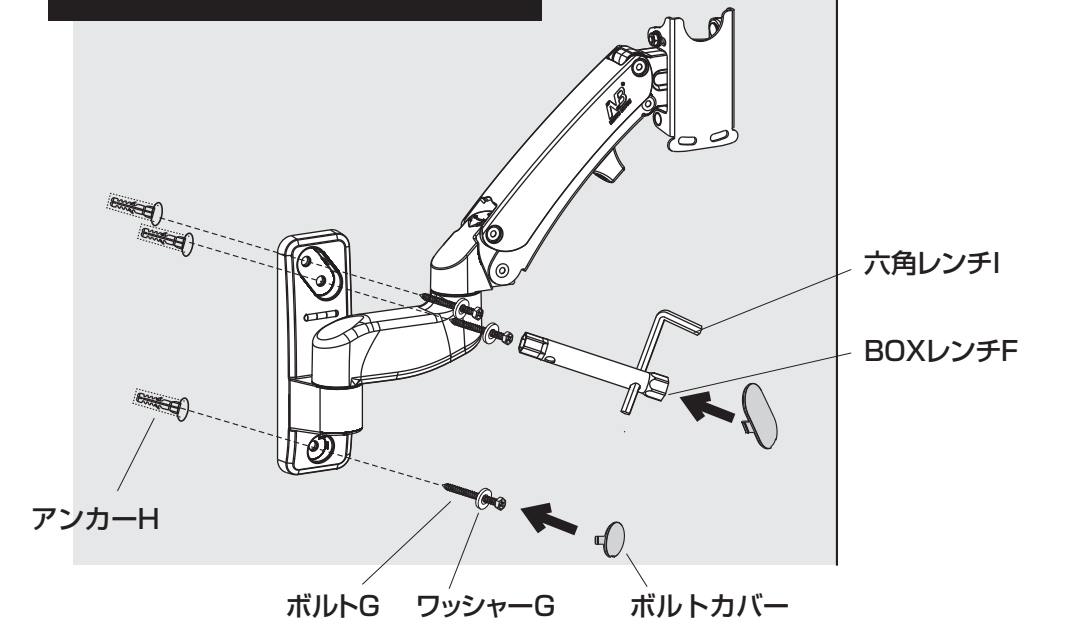


④ ボルトGでアームを固定し、ボルトカバーを取付けます。

⚠ 注意 ⚠

この作業は必ず大人二人以上で行い、手や指などを挟まないようにご注意ください。

※BOXレンチFは、穴に六角レンチIやドライバーなどを差して回します。



2.アームを壁面に取付けます。(続き)

※必ずコンクリートの壁か、もしくは壁の内部に木製の芯材がある場所を取付けてください。壁面はディスプレイと本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。

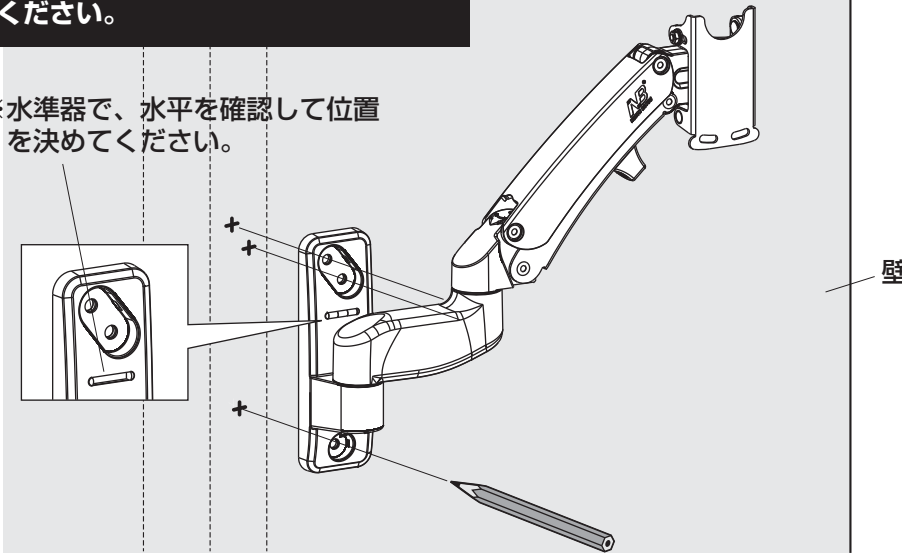
<木製の芯材がある壁への取付け>

- ① アームを設置する壁に当ててテンプレートにし、取付けの穴を開ける位置3カ所に印をつけます。

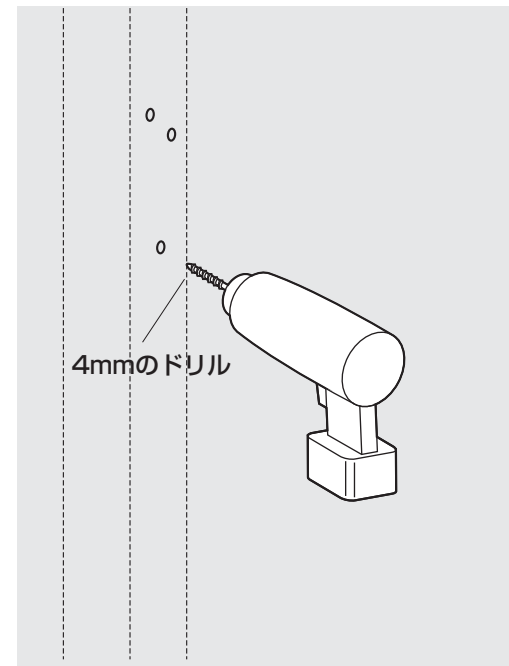
▲ 注意 ▲

この作業は必ず大人二人以上で行い、手や指などを挟まないようにご注意ください。

※水準器で、水平を確認して位置を決めてください。



- ② ドリルを使い壁に印をつけた2カ所に直径4mm 深さ約80mmの下穴をあけます。

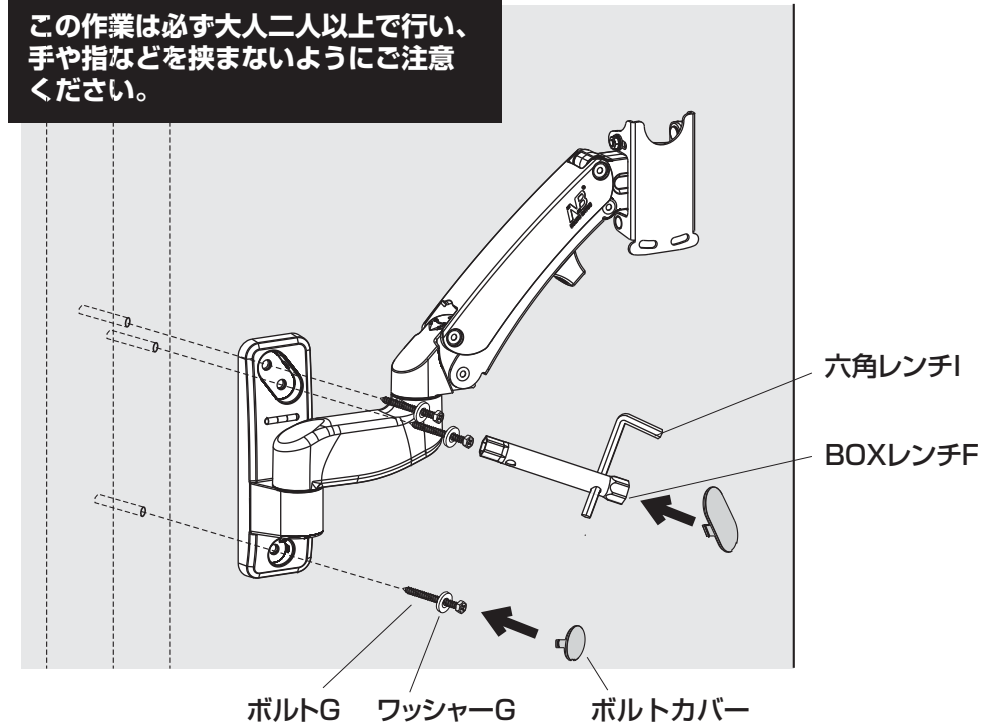


- ③ ボルトGでアームを固定し、ボルトカバーを取付けます。

▲ 注意 ▲

この作業は必ず大人二人以上で行い、手や指などを挟まないようにご注意ください。

※BOXレンチFは、穴に六角レンチIやドライバーなどを差して回します。



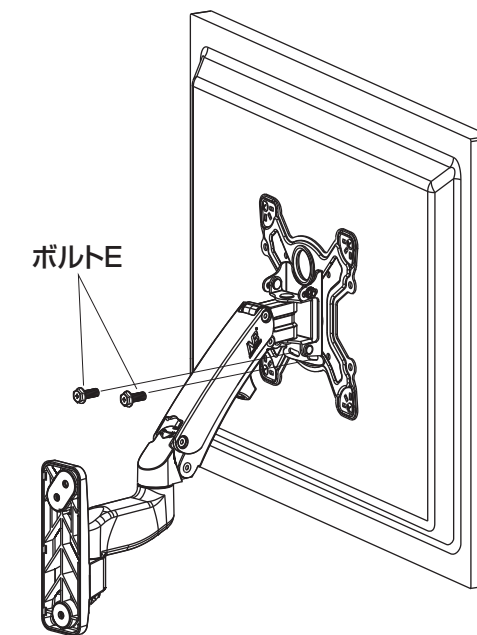
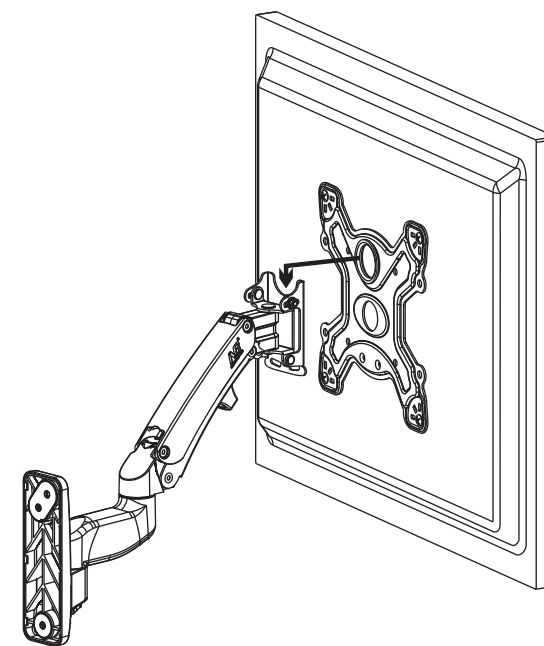
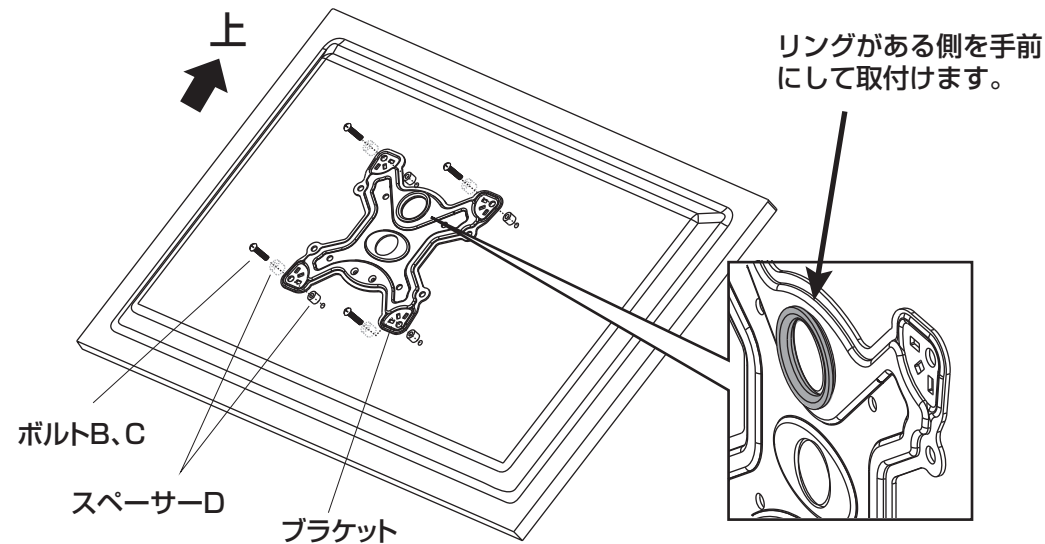
3.ディスプレイをアームに取付けます。

<VESA取付け穴ピッチが100×100、200×100と200×200の場合>

- ① ディスプレイの上2カ所にボルトを取付けます。
※ボルトB、Cから適合するものを選びます。
※ディスプレイのネジ穴の深さに合わせて、スペーサーDはブラケットの奥側又は手前側にします。
※付属のボルトが最後まで締まらない、またボルトが少ししか回っていないなど、ボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意ください。市販の適切なサイズのボルトをご用意ください。

- ② ディスプレイをアームに引っ掛けます。

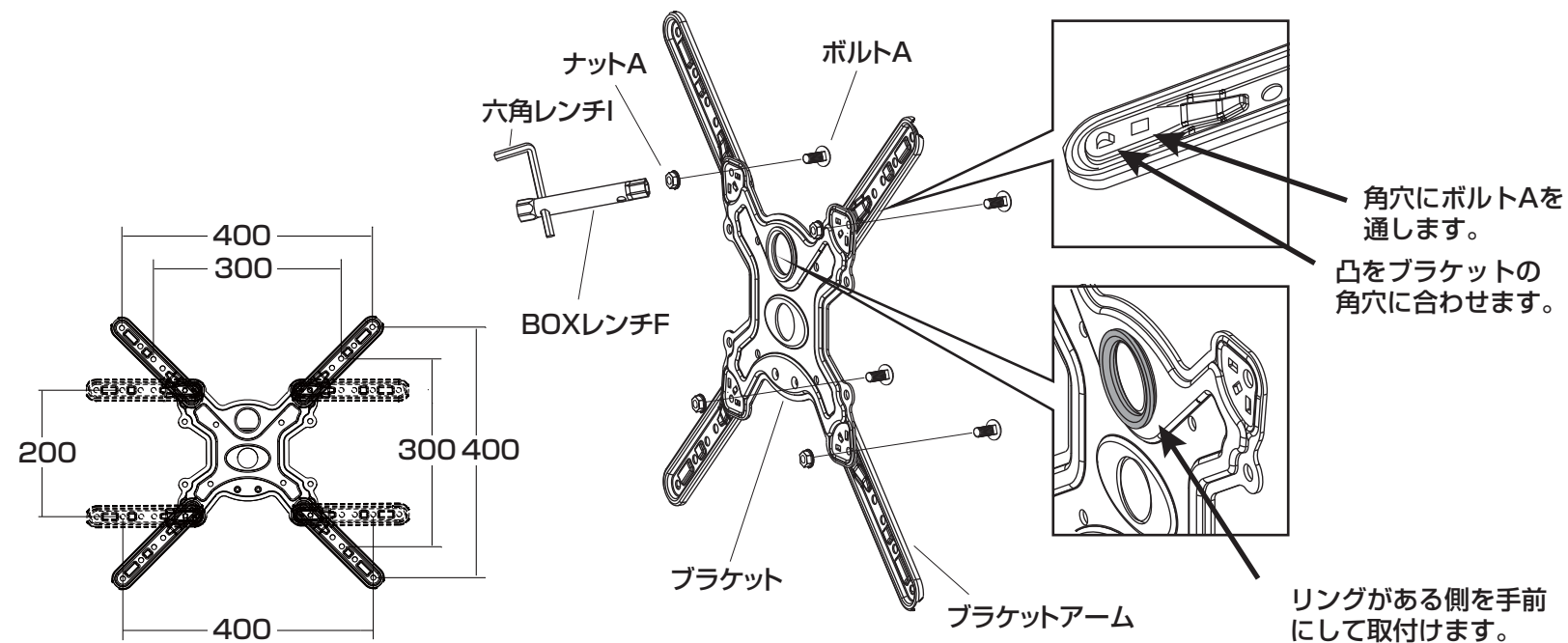
- ③ ボルトEでディスプレイを固定します。
※ボルトEは2本ともしっかり締めてください。



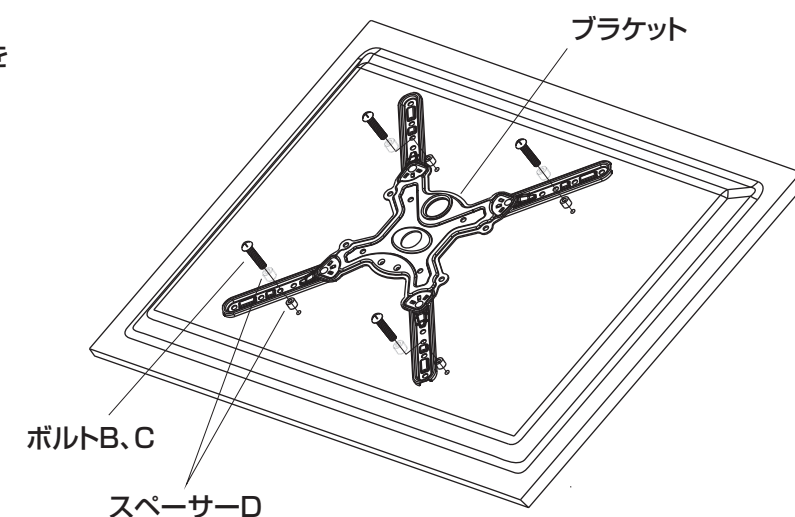
3. ディスプレイをアームに取付けます。(続き)

<VESA取付け穴ピッチが300×300と400×400、400×200の場合>

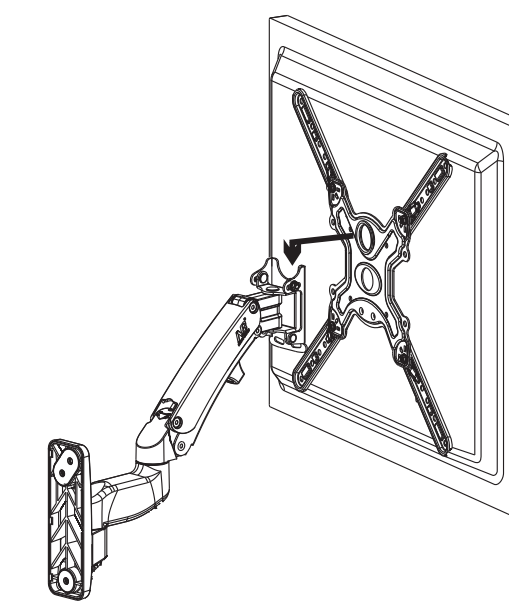
- ① ブラケットにボルトAとナットAでブラケットアームを4本を奥側に取付けます。
 ※400×200の場合は水平の向きに取付けます。
 ※ブラケットには裏表があります、下図の側に取付けます。



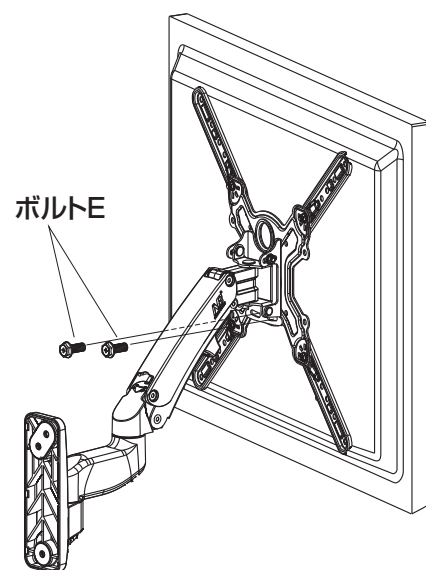
- ② ディスプレイにブラケットを取付けます。
 ※ボルトB、Cから適合するものを選びます。
 ※リングがある方を上側にします。
 ※ディスプレイのネジ穴の深さに合わせて、スペーサーDはブラケットの奥側又は手前側にします。
 ※付属のボルトが最後まで締まらない、またボルトが少ししか回っていないなど、ボルトが合わない場合は、強度に十分で注意の上、市販の適切なサイズのボルトをご用意ください。



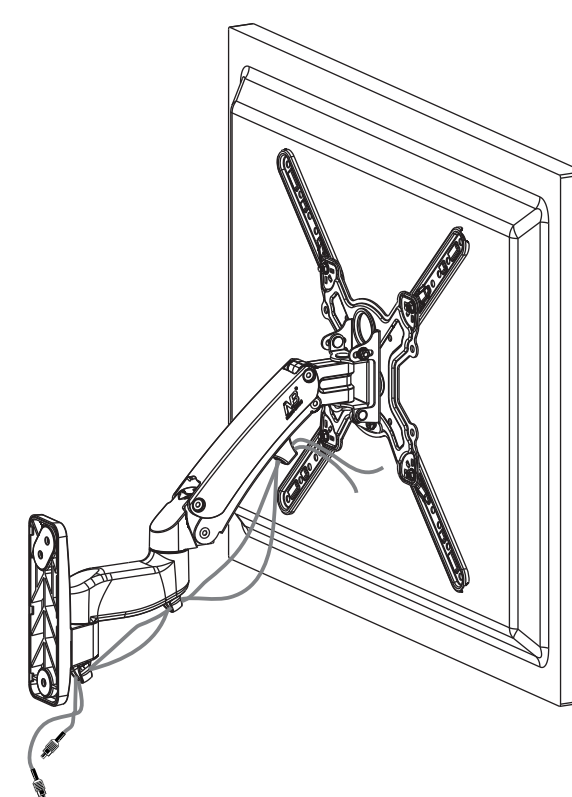
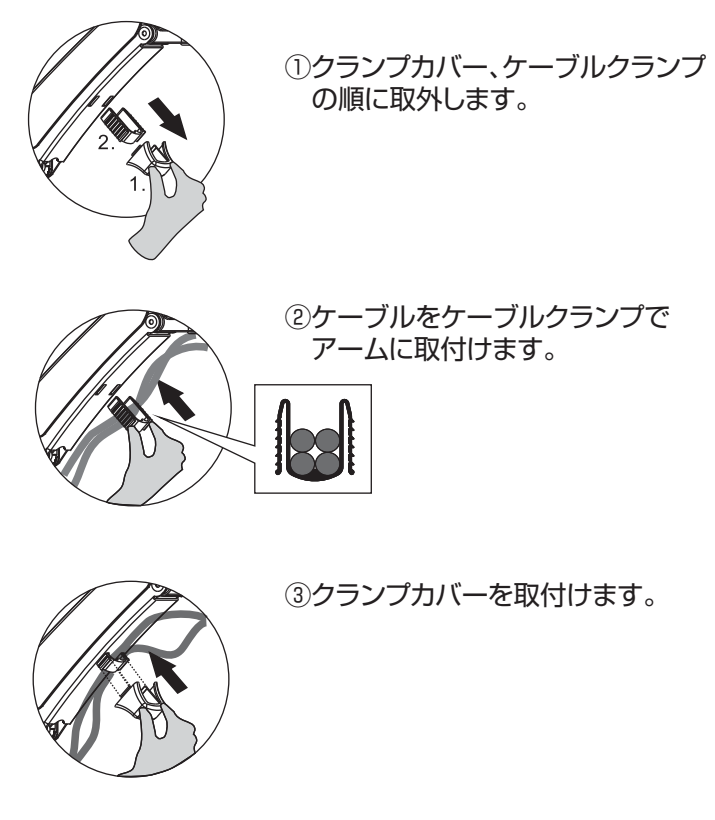
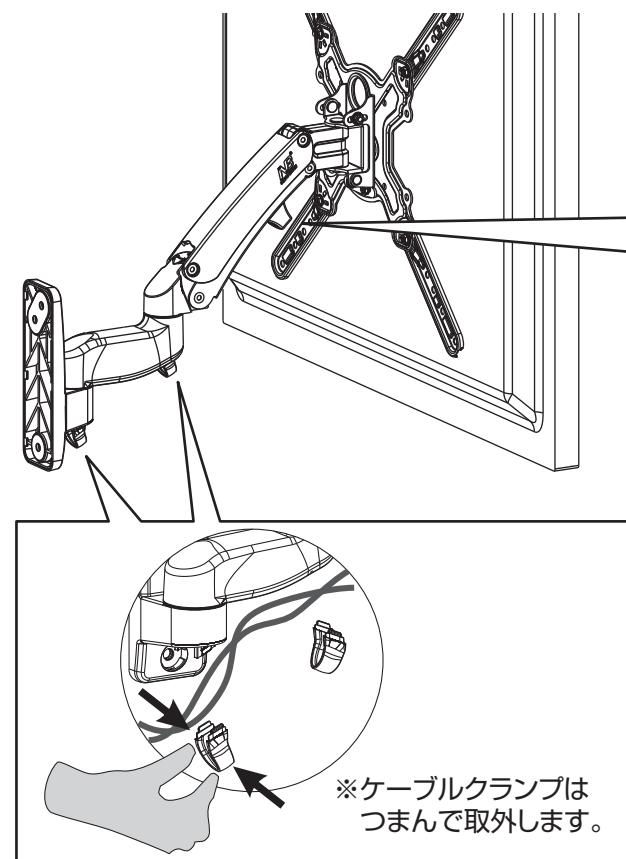
- ③ ディスプレイをアームに引っ掛けます。
 ※ブラケットのリングをアームの上部のU字形の部分に引っ掛けます。



- ④ ボルトでディスプレイを固定します。
 ※ボルトEは2本ともしっかり締めてください。

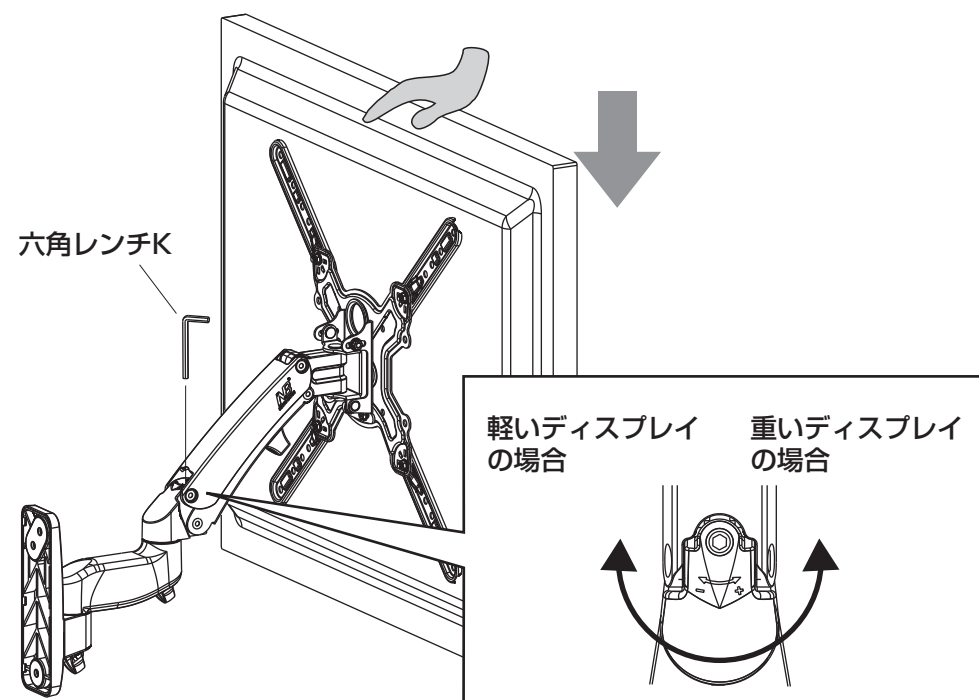


4. ケーブルをケーブルクランプに通して完成です。

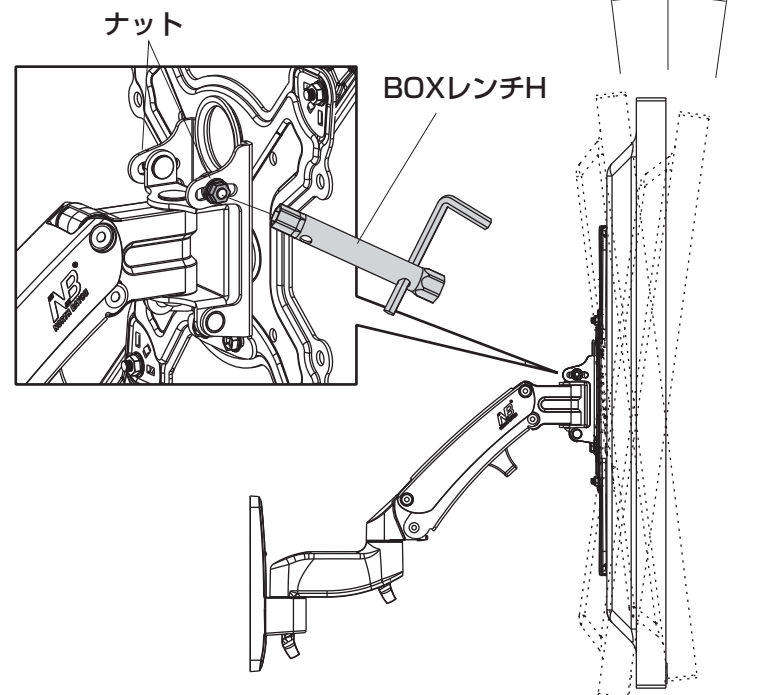


各部の固さや角度調節、及び可動範囲

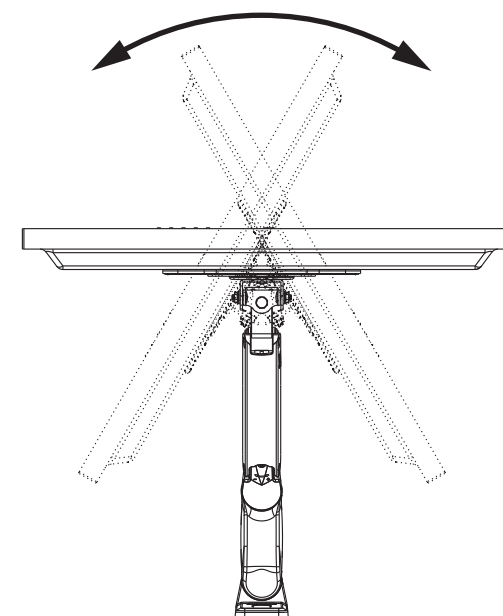
- ※取付けるディスプレイの重量に合わせて、アームが釣り合うように六角レンチでボルトを回して調整します。
- ※ディスプレイを手で押し下げてボルトを回します。



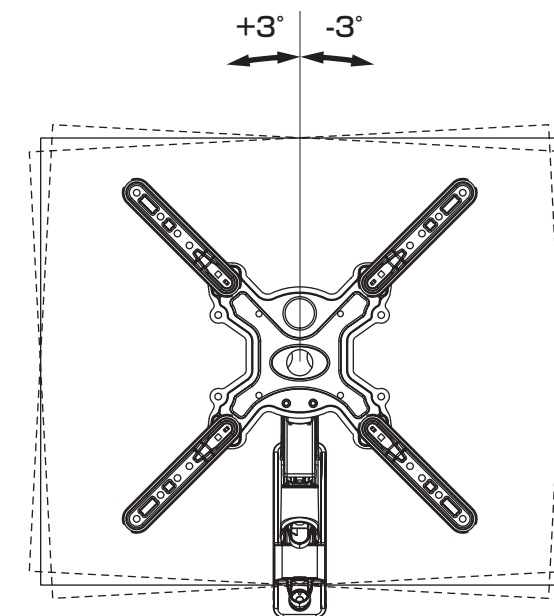
- ※左右のナットをBOXレンチHでゆるめてディスプレイの前後の角度を調整します。調整後はナットをしっかり締めてください。



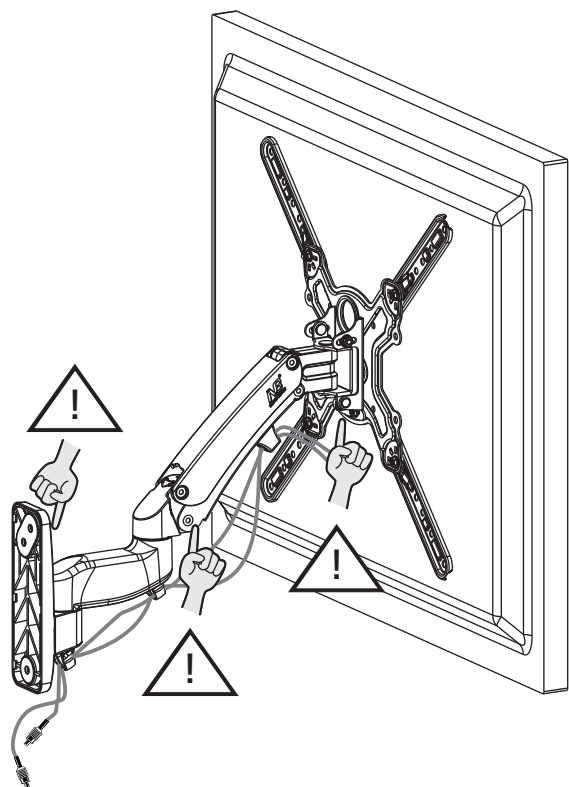
- ※ディスプレイは左右に角度が変えられます。



- ※ディスプレイは左右3°回転します。



可動部分で指をはさまない様にお気をつけください。



使用上のご注意

- 必ずコンクリートの壁か、もしくは壁の内部に木製の芯材がある場所に取り付けてください。壁面はディスプレイと本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。
- 可動部分で指などはさまない様に注意してください。
- アームに23kgを超える機器は取付けないでください。
- アーム部に物を置かないでください。
- 本製品を振動のある場所に設置しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 部品が外れたままで使用しないでください。
- ボルト・ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。
- 本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
- 本製品を高温・多湿となる場所や、ほこりや静電気、油煙の多い場所で使用・保管しないでください。
- 本製品を水などの液体で濡らさないでください。また、濡れた手で触れないでください。
- お子様には本製品や付属品を触れさせないでください。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

以上の点に注意して取扱ってください。

製品に関するお問い合わせ

製品の品質管理には細心の注意をはらっていますが、万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買い求めの販売店までお気軽にご相談ください。

取扱説明書は大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

山陽トランスポート有限公司

店舗名: イーサプライ <http://www.esupply.co.jp>

岡山県倉敷市児島神田町1861 TEL: 086-473-9152

BH/AC/KTDaSc